

登録コード	A3592447	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	濱渦 康範
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年前期
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					研究のプレゼンテーションに関する専門的な知識を有し、効果的に発信できる能力を修得している。	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					研究のプレゼンテーションに関する専門的な知識を有し、専門分野の国際的学术情報に基づいて、自身の成果を適切に発信できる能力を修得している。	
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					研究のプレゼンテーションに関する専門的な知識を有し、効果的に発信できる能力を修得している。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					研究のプレゼンテーションに関する専門的な知識を有し、専門分野の国際的学术情報に基づいて、自身の成果を適切に発信できる能力を修得している。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、自分の研究計画、その研究に関連する海外の論文紹介、調査や実験から得たデータの報告、まとめについて、MS社のPowerPointを使って、各研究分野のセミナーで発表する。						
(5)授業計画	自身のテーマに関連した学术论文紹介（プレゼンテーション） 他者の論文紹介を聴講してのディスカッション 自身の実験データによる研究経過報告（プレゼンテーション） 他者の研究データ紹介を聴講してのディスカッション 上記を、15回の時間内で複数ローテーションで実施する。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。						
(7)成績評価の基準	論文や実験データの発表が資料（スライド）や説明ともに非常に分かりやすく、質疑に対して適切に回答できていれば「優」レベル、さらにディスカッションや気付きの点で教員を感心させるレベルであれば「秀」レベルとする。 他者のプレゼンテーションを聞いての質問が適切なレベルであれば「優」、教員が感心できるレベルであれば「秀」とする。 自身の発表時と、聴衆としての参加時の両面の取り組みを総合的に評価する。						
(8)事前事後学習の内容	自身の研究テーマに関わる学术论文の検索 選択した学术论文の内容の検討・協議と決定 論文和訳とプレゼン資料の製作 論文紹介資料の確認と準備段階の協議 自身の実験データによる報告資料作成 報告資料の準備段階の事前協議 報告（プレゼンテーション）の準備としての関連学术情報の収集など						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	自身のプレゼンテーションの内容と質疑応答における評価を70%，他者の発表時におけるディスカッションへの積極性と内容を30％として評価します。 秀：90～100点、優：80～89点、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける						
(12)履修上の注意	特になし。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）						